

高山准看護学校 第54期生卒業式

3月2日に、肝付町文化センターにて肝付町立高山准看護学校第54期生の卒業式が行われました。

男子2名女子12名の計14名が決意を新たに学び舎を後にしました。

卒業生の岩重安貴子さんは、教育実習現場でのことを振り返りながら「実際の現場で実習することで、真剣な命の現場に向き合うことができました。ご協力いただいた患者様、利用者様、病院、施設の方には感謝しきれません。学校で学んだことを自らの糧として精いっぱい挑んでいきます。」と感謝と抱負を述べました。



道路メンテナンスに関する研究会を発足しました



肝付町では、鹿児島大学、公益財団法人鹿児島県建設技術センター、株式会社久永コンサルタントと共に、今後老朽化に伴い維持管理費用が増大することが見込まれる道路インフラ施設に対し、維持管理及び長寿命化に関する技術の向上を目的として、「道路メンテナンス研究会」を立ち上げました。

今回は鹿児島大学 審良准教授らにより、釈迦堂橋及び宮本橋にて常時微動計測による健全度評価の検証、大浦橋にてサビ止めシールの有効性を検証する試験に着手しました。

道路インフラ施設全般の維持管理、長寿命化が効率的かつ低コストで実施できるよう、今後も関係機関と連携しながら先進的技術の普及発展を積極的に推進していきます。

鹿児島黒牛日本一記念 学校給食へ牛肉を提供

昨年10月に開催された第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会において鹿児島県が全9部門のうち6部門で1位を獲得し、栄えある「和牛日本一」の栄冠に輝いたことを記念し、鹿児島黒牛の魅力を広く周知するため、また、生産者の活躍や畜産に関心を持ってもらう目的で町内各小中学校及び義務教育学校児童生徒へ、学校給食に鹿児島黒牛の牛肉を肝付町と鹿児島きもつき農協とで提供しました。

3月7日は内之浦地区の学校で「サイコロステーキ」、3月13日には高山地区の学校で「ビーフシチュー」がメニューで児童生徒からは「お肉が柔らかくておいしかったです」と大好評でした。



▲高山中学校



▲岸良学園